日本臨床発達心理士会千葉支部　2018年度第3回資格更新研修会のお知らせ

日時　2019年2月3日(日)　 9時30分～12時30分　(9時受付開始)

会場　千葉大学西千葉キャンパス　教育学部5号館　5102教室(１階)

　　　千葉市稲毛区弥生町1-33　　JR西千葉駅または京成みどり台駅より徒歩

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(車の乗り入れはできません)

テーマ　発達検査結果をよりよい支援につなげるためには

－新版K式発達検査を用いたケーススタディと解釈の方法－

講師　 藤川 志つ子　先生　(東京経営短期大学)

斎藤 順子　先生　(成田市福祉部障がい福祉課)

佐々木 郁子　先生　(千葉県立槇の実特別支援学校)

要旨

　2018年度10月の研修会では、さまざまな発達検査や知能検査の特徴について学びました。とくに新版K式発達検査は、乳幼児の発達検査場面において広く行われていることから、検査項目や内容についての理解を深めました。今回の研修では、前回の研修での学びを踏まえて、新版K式発達検査を使った幼児の支援事例をもとに、分析シートを用いて解釈の方法を具体的に学びたいと思います。

　本事例では、最初に相談の経緯をたどりながら、対象児が2歳児の時の発達検査の結果について、解釈の方法を考えます。そして、さらにその対象児が4歳になった時の発達検査結果についても解釈していきます。対象児を継続して支援していく中では、子どもの発達に伴い発達検査の結果が変わっていくことはよくあることです。事例を通して発達検査の結果の解釈の方法を具体的に学び、実践に生かせるようにします。子どもへのよりよい支援につなげるために、スキルアップしましょう。

〇参加方法

　有資格者向けの研修会で定員100名、他支部からの参加も可。事前参加申し込みが必要です。

申し込み受付開始

千葉支部会員－2018年12月15日より。　他支部会員－2019年1月10日より。

氏名、支部名、登録番号を必ず明記の上、

Jacdpchiba〇yahoo.co.jpメールで送信してください。

参加の可否について返信します。なお、定員になり次第、締め切りといたします。

〇参加費　1,000円。当日、受付で集金します。

〇研修ポイント　1ポイント

○注意事項

　　当日の受付はIDカードのバーコード読み込みによりオンラインで行います。IDカードを

　 必ず持参してください。

　　参加にあたっては会費の納入が必要です。2018年度の会費が未納の場合は、資格更新ポイ

ントは取得できません。会費の納入状況について事前にご確認ください。

　 確認は会員情報管理システムSOLTIにて行うことができます。